

シラバス（様式）

授業科目名： 日本語プレゼンテーション		担当教員名： 宮崎 七湖	
選択/必修： 選択	単位数： 1	開講学期： 前	開講言語： 日本語
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>この授業では、フォーマルな、あるいは、アカデミックな場で、自分自身のことを日本語で説明できるようになることを目指します。自分自身のこととは、出身地とその地理・社会・経済・文化、自身の研究や専門分野、将来のビジョンなどを指します。</p>			
<p>○授業の概要</p> <p>留学生にとって、自分自身の出身地域、研究や専門分野を日本語で説明することは、生活の場や研究室、その他学内における人間関係の構築や研究活動に必要なことです。さらに、日本で就職をする場合にも、このような能力が必要になってくるでしょう。</p> <p>また、さまざまな場に応じたスピーチスタイルを意識することも重要です。この科目では、受講生が自分の出身地や研究内容などを説明するのに必要な語彙を学び、フォーマルな、あるいは、アカデミックな場に適した表現やスタイルで話すことを繰り返し練習します。また、プレゼンテーションの活動ではスライドを作成し、これらを使ったプレゼンテーションを行います。</p>			
<p>○授業の方法</p> <p>自己紹介、出身地の地理と気候、産業と貿易、日本との関係、専門（研究計画）の五つのテーマについて、以下のプロセスを繰り返し行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) テーマについて話すのに使える文型、語彙、表現の導入 2) テーマについて話す（ブレインストーミング） 3) フォーマルな／アカデミックなスピーチ／プレゼンテーションの表現の導入 4) スピーチ／プレゼンテーション原稿の作成 5) スピーチ／プレゼンテーション原稿のフィードバックと見直し 6) スピーチ／プレゼンテーションの練習 7) スピーチ／プレゼンテーション実施 <p>以上のプロセスを繰り返しながら、それぞれの受講生が自分にとって必要な語彙が習得できるよう、インターネットサイトなどを利用して、「自分の語彙リスト」を作成します。また、最終週には、自分の将来の計画について短いスピーチをします。</p>			
<p>○授業計画</p> <p>第1回 コース・オリエンテーション／自己紹介のスピーチを改善する(1)</p> <p>自己紹介のスピーチをする</p> <p>自己紹介のスピーチの内容を検討し、語彙や表現を学習する</p> <p>自己紹介のスピーチ原稿を作成する（宿題）</p> <p>第2回 自己紹介のスピーチを改善する(2)</p> <p>自己紹介のスピーチ原稿を見直す</p> <p>自己紹介のスピーチを練習する</p>			

自己紹介のスピーチを実施する

第3回 自分の出身地の地理と気候を紹介する(1)

地理と気候を説明するのに必要な語彙や表現を学習する
自分の出身地域の地理と気候についてクラスメートと会話する
地理と気候を紹介するプレゼンテーション原稿を作成する(宿題)

第4回 自分の出身地域の地理と気候を紹介する(2)

地理と気候を説明するプレゼンテーション原稿の見直しをする
アカデミックなプレゼンテーションの表現を学習する
視覚資料(スライド)を作成する(宿題)

第5回 自分の出身地域の地理と気候を紹介する(3)

プレゼンテーションの練習をする
プレゼンテーションを実施する

第6回 自分の国(または出身地域)の産業と貿易について紹介する(1)

産業と貿易を説明するのに必要な語彙や表現を導入する
自分の国の産業と貿易について会話する
産業と貿易を説明するプレゼンテーション原稿を作成する(宿題)

第7回 自分の国(または出身地域)の産業と貿易について紹介する(2)

産業と貿易を説明するプレゼンテーション原稿の見直しをする
アカデミックなプレゼンテーションの表現を学習する
視覚資料(スライド)を作成する(宿題)

第8回 自分の国(または出身地域)の産業と貿易について紹介する(3)

プレゼンテーションの練習をする
プレゼンテーションを実施する
録画を見ながらフィードバックを受ける

第9回 自分の国と日本の関係について説明する(1)

政治、経済、文化的交流を説明するのに必要な語彙・表現を導入する
自分の国と日本の関係についてクラスメートと会話する
自分の国と日本の関係について説明する
プレゼンテーション原稿を作成する(宿題)

第10回 自分の国と日本の関係について説明する(2)

自分の国と日本の関係について説明する
プレゼンテーション原稿の見直しをする
視覚資料(スライド)を作成する(宿題)

第11回 自分の国と日本の関係について説明する(3)

プレゼンテーションの練習をする

プレゼンテーションを実施する(質疑応答、ピア評価、ビデオ録画)

第12回 私の専門(研究計画)について説明する(1)

自分の専門(研究計画)を説明するのに必要な語彙、表現を学習する

自分の専門(研究計画)について会話する

自分の専門(研究計画)のプレゼンテーション原稿を作成する(宿題)

第13回 私の専門(研究計画)について説明する(2)

自分の専門(研究計画)のプレゼンテーション原稿の見直しをする

視覚資料(スライド)を作成する プレゼンテーションの練習をする

第14回 私の専門(研究計画)について説明する(3)

プレゼンテーションの練習をする

プレゼンテーションを実施する

第15回 将来の計画について話す

自分の将来の計画について話す

自分の将来の計画についてスピーチ原稿を作成する

自分の将来の計画についてスピーチをする

注1) スケジュールは変更する可能性があります。

注2) 本科目は、日本語能力が「日本語能力試験(JLPT)」においてN3以上の学生が履修することができます。

注3) テキストや授業内容は受講生の日本語習熟度を見て、変更する可能性があります。

○テキスト

ハンドアウトを配布します。

○参考書・参考資料等

1. 国際交流基金関西国際センター編著(2005)『初級からの日本語スピーチー国・文化・社会についてまとめた話をするためにー』 凡人社
2. 三浦香苗他著(2006)『アカデミックプレゼンテーション入門ー最初の一歩から始める日本語学 習者と日本人学生のためのー』 ひつじ書房
3. 犬飼康弘著(2007)『アカデミック・スキルを身につける 聴解・発表ワークブック』 スリーエーネットワーク

○学生に対する評価

スピーチ・プレゼンテーションの原稿の提出(1テーマにつき2回、全10回) 40%

スピーチ・プレゼンテーション(全6回) 40%

クラス参加度・貢献度 20%

○警戒レベル3以上の場合の授業形態について

授業形態 : オンライン授業(リアルタイム配信型)

資料・連絡事項掲載場所 : 担当教員に確認